第二十一回　北海道 小・中・高生短歌コンテスト　受賞　入選者一覧

【特別賞】

【北海道教育委員会教育長賞】
緊張の着衣水泳泳ぎきり服と命の重たさを知る　札幌市立真駒内桜山小学校　５年　中野航太朗

【北海道立文学館賞】
鞄には『かものジョナサン』いつも入れ群れる自分とさよならしたい　札幌市立陵北中学校　２年　木島みずほ

【北海道歌人会賞】
こわかった　たくうちゅうぶらんこはじめてのあおぞらぐるぐるななめにゆれた　北海道教育大学附属札幌小学校　１年　なりたなぎさ

【北海道新聞社賞】
部活終え茜に染まる帰り道汗をぬぐえば風がやさしい　酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校　３年　伊藤　友美

【優秀賞】

※計八名

おはようのみんなの声でほっ　とするクラスがえした春の教室　札幌市立発寒南小学校　３年　道下陽真理

弟も将棋ができるようにな り秋の夜長が楽しみになる　田中学園立命館慶祥小学校　２年　佐藤　零凰

夕方にひぐらし鳴いて宿題をちょっ と休んで風を感じる　札幌市立大谷地東小学校　４年　あべはるま

思い 出をたくさんとっ てとおしいちゃんもらっ たカメラでえがおをカシャリ　札幌市立盤渓小学校　４年　星山　藍子

駆け抜ける先輩の背は遠すぎて追いつけないまま加速する恋　恵庭市立恵北中学校　２年　平野　蒼

母がむくりんごの皮のうずまきに幼き日々の時間が戻る　むかわ町立鵡川中学校　２年　山谷　奏太

姉夫婦笑顔の真ん中小さい 手新たな家族僕は叔父さん　北海道小樽水産高等学校　２年　岡山　樹月

サイダーの泡が弾ける音聞いてから と見つ める空の青さを　酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校　３年　齊藤　真歩

【佳作】

※計十六名

オレンジで目がくりっ くりきたきつ ねさわってみたい あそんでみたい　札幌市立幌西小学校　２年　続木　入文

ためいけにむしあみいれてつかまえたあざやかなはねるりいろヤンマ　札幌市立幌北小学校　３年　田中　希

手づくりの、ーバリウムのびんのなかペンギンたちのみずいろのうみ　札幌市立屯田西小学校　１年　さえきはな

風を切りぐんぐんぺダルこぐぼくのゆめは地球をひとまわりする　北海道教育大学附属札幌小学校　３年　松田栞太朗

ぼくと父ばあちゃん家までドライブだ一 時間かけ笑顔に会えた　札幌市立屯田小学校　４年　茨木　結斗

山からの街がかがやくこの景色下にあるのに星空みたい　札幌市立屯田小学校　４年　田村　陽太

ぶたいそでぎゅっ とにぎる手どくんどくんいつ も通りの自分でひこう　札幌市立白楊小学校　４年　北川　泰成

夏休み課題がたくさん早くやるママの仕事も手伝うからね　滝川市立滝川第三小学校　６年　伊藤　桃歌

夏祭り浴衣姿で駆け寄ると照れた顔して目をそらす君　京極町立京極中学校　２年　山岡　璃子

ふみこんで白きシャトル を打ち抜いて風をきりさくスマッシュ の音　滝川市立明苑中学校　２年　中野　真裕

呼んでみる振り向くけれど来はしないそれでも愛しいしっ ぽの返事　千歳市立千歳中学校　２年　高橋　史佳

大雪の名の揺るぎなき初夏 はつなつ の お鉢に残る白き残雪　北海道教育大学附属旭川中学校　２年　内舘　奏人

古来より時の流れを泳ぎ超え今に至るやサッ ポロ クジラ　札幌光星高等学校　１年　村田　遥規

冬の朝まだ来ぬバスを待ちながらめくりにめくる英単語帳　札幌北斗高等学校　２年　吉原　唯菜

赤とんぼそっ と指先羽休め飛び立つ 先は夕焼けの空　北海道清水高等学校　１年　髙橋　桜歌

十勝野や果 てなき空に 風ぞ鳴る大地の恵み 今ぞ芽吹けり　北海道清水高等学校　２年　佐良土　善

【入選】

※計六十名

きれいだなあまいにおいのぶどうたちむらさきいろのダイヤモンドだ　札幌市立札苗緑小学校　２年　斉藤　凪

こうえんでころんで 血がでた顔よりもしんぱいそうなママが気になる　札幌市立西園小学校　２年　山ざき友あ

やまみたい カップにもったかきごおりわたしのベロがあおにかわるよ　札幌市立桑園小学校　２年　ますだゆき

ゆきだるまぼくとあそぼう太陽が鼻のにんじんおとさないうち　札幌市立二条小学校　３年　芦谷　壱成

二失点悔い が残った初スタメン次に生かすとボールをにぎる　札幌市立白楊小学校　３年　神原　一誠

ロケットががめんの中でとびたっ たぼくも行きたいいつか宇宙　札幌市立八軒西小学校　２年　山しろ　然

ぶくぶくとマグマみたいなおゆの中ちょうせんしたよあついおんせん　札幌市立北光小学校　１年　きたざきのわ

夜になりピカピカ光るキャンプ場りゅうせいぐんにうちあげ花火　札幌市立本町小学校　３年　武田　碧斗

はじめてのエスコンで見たホームランたこやきかたてにこうふんおさえる　札幌市立前田小学校　１年　城地　向陽

チアダンスみどりのポンポンエスコンでドキドキかくしジャンプでえがお　田中学園立命館慶祥小学校　１年　いなばるゆ

公園のいっしょにゆらすブランコでとなりを見ると母がにっこり	田中学園立命館慶祥小学校	2年	土田 理世
じてんしゃでぐるぐるはしってたのしいなにじができてきてとってもうれしい	富良野市立鳥沼小学校	1年	奈良亜由斗
かぼちゃのねっるがどんどんのびてきてとまとのしちゅうにまきついているよ	富良野市立鳥沼小学校	1年	萩原 叶絆
おいしいなあたまがもしゃもしゃブロッコリーにがてなきゅうしょくのこさずたべたよ	富良野市立鳥沼小学校	2年	小野 菫
ほしみたいオレンジ色のもみじのはっすぐみちをサクサクあるく	北海道教育大学附属札幌小学校	2年	佐藤 希色
ウポポイで歌やおどりもおもしろい昔の人の生活すごい	札幌市立大谷地東小学校	4年	長部美愛理
おいしいなほっかいどうのあじがするホクホクサクッいものコロッケ	札幌市立上白石小学校	4年	山口 奏人
スワンこぐしずかにひびく水の音風に流されすうっとすべる	札幌市立幌北小学校	5年	山口 志織
たのしみは家族だんらん寄り添って今日あったこと話すひととき	札幌市立栄北小学校	6年	堀 壱惺
ついにきた年に一度のおぼんの夜みんなのえがおと花火がひかる	札幌市立札苗緑小学校	4年	太田 茉優
絶景だシェットコースター最上部父さんと見る大阪の空	札幌市立西岡小学校	6年	富岡 昊平
お父さん生まれた五島の青い海夢の中でもまた見に行こう	札幌市立西小学校	5年	西村 真帆
新学期ふとんくるまるナマケモノ夢の中ではまだ夏休み	札幌市立日新小学校	6年	木島ほのり
こんにちは白いドレスのおひめ様合宿初日羊蹄見上げる	札幌市立発寒西小学校	6年	小谷 めい
シュート決め後半逆転フットサル全国リーグ残り数秒	札幌市立明園小学校	6年	明石 龍大
ざくざくとかまで切る音楽しいないねかりをしてあきのもちつき	名寄市立中名寄小学校	4年	角尾 美桜
たまごやきみんなを楽にさせるためつくりはじめて二日目の朝	別海町立上西春別小学校	4年	大沼 蓮斗
いもうとがわたしはほしいかみさまがかなえてくださいおねがいします	別海町立上西春別小学校	4年	町屋 音羽
日暮れまで金管バンドの猛練習響けよ空に音の宝玉	北海道教育大学附属札幌小学校	6年	松田 莉瑚
シロップをドバっとかけたかきごおりベロを見せ合いみんなで笑う	留萌市立緑丘小学校	4年	吉田 さく
「またあとで」きみの返事を待つ部屋で冷めていくのはココアと期待	旭川市立春光台中学校	2年	藤盛 紬
ただいまとくせで言うけどお留守番一言ほしいおかえりなさい	岩見沢市立豊中学校	2年	菊地 真子
スケートを私の武器と人生に氷の上で生きてみたいよ	雨竜町立雨竜中学校	3年	杉山 百笑
夏休みどうして君はそっけないの来るのがおそく去るのがはやい	江別市立江別第三中学校	2年	岩倉 小桃
指揮者の目ちっと見つめて息を吸う最高の音響け仲間と	北広島市立広葉中学校	2年	杉田 夏惟
炭酸の泡が弾けて消えるように「好き」といえずに飲み干すサイダー	北見市立おんねゆ学園	8年	佐藤 芽
田園を掃除機のごとかきわけて青の絨毯進む列車	札幌光星中学校	3年	荒木 麻衣
祖母の部屋古いアルバムめくる盆面影のこる小さき母よ	札幌市立向陵中学校	3年	今井 伶
蒼茫なシーパロ湖から仰ぎ見る高くそびえる夕張岳を	札幌市立信濃中学校	2年	森 智紀
レトロなる堺町通り歩みゆく古きレンガに穏やかな日差し	札幌市立屯田中央中学校	2年	伊藤 桐人
会うだけで心の花火打ち上がるどんな魔法を使っているの？	札幌市立藤野中学校	2年	大久保梨乃
かいまみる鉱夫の苦闘手掘り跡佐渡金山の歴史の重み	札幌市立明園中学校	1年	東中 康樹
「まだいける１パーセントの可能性繋いだシャトルが奇跡を起こす	北海道教育大学附属札幌中学校	2年	楠 心優
推し変などするわけないと誓った日足元にある新しき沼	紋別市立紋別中学校	2年	関口 純萌
ぐるぐるとゆっくり回る観覧車君との時間も終わってしまう	和寒町立和寒中学校	2年	岡 蓮翔
雲泳ぐ濃い夏空の涼しさを移したラムネ喉に流した	北海道旭川東高等学校	2年	相澤美奈子
帰り道影がぐんぐん伸びていく置いてきぼりの寂しさ連れて	北海道石狩翔陽高等学校	3年	遠藤 奏
風を呼び白帆を張りてどこまでも続く大海ヨットが駆ける	北海道小樽水産高等学校	1年	加藤英太郎
若竹の坂より見えるふるさとの母なる海は今日も雄大	北海道小樽水産高等学校	1年	小松 渚人
土俵際最後の一歩踏みしめて得意の上手ひっくり返す	北海道小樽水産高等学校	1年	和田 光輝
帰り道肩を並べて歩いてるあと少しだけこのままでいて	北海道釧路工業高等学校	2年	納谷 瑠奈
教室にそよ風吹けば思い出す新たな一歩踏み出した春	北海道札幌北高等学校 定時制	4年	千葉 颯太
蝉時雨止まる一瞬矢を放ち弦音に満ちて星を射抜けり	北海道札幌白石高等学校	2年	嵯峨りおな
陽炎や私は奏で君は打つ場所は違えど夏を駆けてく	北海道札幌白石高等学校	2年	中村 美海
傷あとは隠して笑う人がいる強さはきっと優しさになる	北海道札幌白陵高等学校	2年	川西 心菜
教科書をめくる手元に影満ちる春の嵐の気配を連れて	北海道札幌南高等学校	2年	小仲 陸王
戦争は悲しみ残すだけなのになぜ繰り返す人の愚かさ	北海道清水高等学校	2年	櫻井 祐奈
熱い夏千回振れば見えてくる昨日の自分と違う一振り	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	1年	町谷 稜介
ひんやりとラムネの玉が音を立て祭りの夜の風に消えゆく	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	3年	安達 世羅
スニーカー脱ぎ捨て走る砂浜の暑さ忘れて飛び込む青に	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	3年	横山 太雅